



環境問題、貧困考え方

来月、くらしのたね(岡山)

小学生向けワークショップ

まちづくりに取り組む地域団体「くらしのたね」(岡山市北区辰巳)は8月、環境問題や貧困について考える小学生向けのワークシ

トもらおうと、SDGs(持続可能な開発目標)の一環で初めて行う。

初回の3日は「フェアトレード(公正な貿易)」がテーマで、アフリカのセネガルから輸入した布で缶バッジなどを実際に作る。18日は建築過程で出た木片を再利用



ワークショップで作るエコバッグとカレンダー

する。くらしのたねは「自分たちの生活が自然環境や国の経済に密接に関わっていることを知りたい」としてい

る。時間や定員は各回で異なり、参加費は1回500円(一部無料)。問い合わせはくらしのたね(086-246-4488)。

他の日程とテーマは次の通り。

4日	おこづかい会議・お金の大切さを学ぶ
5日	エコバッグ作り
6日	エコラップ作り
7日	リサイクルペーパー作り
18日	工務店の仕事を知る

支援につながることを支援する。5日は自分が店を開いたと仮定して、模擬通貨を使ってお金の大切さや仕組みを学ぶ。18日は建築過程で出た木片を再利用の仕事を知る

(小野祐香)